

共同舞台に 出演する人 支える人



鳥越 文藏

早稲田大学名誉教授、元早稲田大学坪内博士記念演劇博物館館長
日本近世演劇研究、1998年、全蔵書2万冊を佐渡市(当時の畑野町)に寄贈、猿八に鳥越文庫開設



清水 寛二

能役者 公益財団法人 鏡仙会 会員 東京芸術大学非常勤講師
古典曲の上演を続ける一方、新作能『一石仙人』『沖縄残月記』『長崎の聖母』などの演出、シテをつとめる。現代劇、ダンスなど他の表現分野との共同舞台や、他の伝統芸能と共同での舞台作りにも取り組んでいる



岩崎 敬

環境デザイン (株)岩崎敬環境計画事務所代表
フランス水アカデミー会員
(社)自然科学とリベラルアーツを統合する会 理事
元東京大学先端科学技術研究センター客員研究員
元北陸先端科学技術大学院大学非常勤講師
元多摩大学情報社会学研究所 客員研究員
元早稲田大学演劇博物館 客員研究員



西橋 八郎兵衛

佐渡市猿八在住
早稲田大学で演劇学専攻後
文楽人形遣い吉田襄助に入門
(芸名 吉田襄司)
1979年佐渡に移住
佐渡文弥人形「真明座」座員
人形浄瑠璃「猿八座」主宰



坂野 正崇

建築家 ジャズサクソフ奏者
ボストン・パークリー音楽院大学卒業
ニューヨークでミュージシャンとして生活。帰国後、伝統木造建築大工として修行・独立後2005年、住宅デザイン設計事務所 ADO 設立



建築から110余年、氏子の人々が社殿を守って来ました。神社境内の草刈り、清掃、八寸角柱2本と板戸を外して拝殿を能舞台に拵え、床板を糠袋で磨き上げる。舞台の準備と終演後の片付け等々、目に見えぬ所で沢山の人々が一夜の舞台を支えています。